



■発行年月日/2014年1月1日 ■発行/独立行政法人国立病院機構千葉医療センター ■発行責任者/院長 増田政久 ■編集者/副院長 杉浦信之
〒260-8606 千葉市中央区椿森4-1-2 Tel 043-251-5311 Fax 043-255-1675 <http://www.hosp.go.jp/~chiba/>



イルミネーション 12/2~1/31 16時30分から21時の間、病院正面のロータリー内を7200個のLED球で飾り付けしました。



明けまして おめでとうございます

院長 増田政久

本年も皆様方にとって良い年でありますようお願い申し上げます。

昨年は当院病棟勤務の看護師の結核発病という事態に見舞われ、患者の皆様方をはじめ多くの方にご心配・ご迷惑をおかけしました。お陰様で大きな混乱もなく発病した職員の治療および接触者検診は順調に進み、12月に保健所より接触者検診の対象をこれ以上拡大しない方向が示されました。これもひとえに皆様方のご理解の賜物と考えます。二度とこのような事態を

招かないよう職員一同、注意して参ります。

さて、いわゆる団塊の世代が後期高齢者となる2025年以降に向けて、医療を取り巻く環境は大きく変わろうとしています。主なものとして地域の診療所と地域医療支援病院(たとえば当センター)が診療機能を分担することが一層推進されます。すなわち普段診て頂くかかりつけ医(診療所)から病院への紹介、あるいは病院からかかりつけ医(診療所)への紹介がより推進され、何でもかんでも病院という流れを無くす方向が示されています。患者さんには是非お住まいになっている地域で相談できるかかりつけ医をお持ち下さりますようお願い申し上げます。この件に関してご不明な点はお気軽に外来窓口にご相談下さい。

堅い話は兎も角、今年も明るく元気の出る病院を目指しますので、宜しく願い申し上げます。

Y
n
h
a
n
n
(国)
京

新臨床研修医紹介	2
連携病院紹介 / 地域医療連携室だより	3
千葉医療センター地域医療連携ネットワークのご紹介	4
診療トピックス	5
永年勤続表彰伝達式	6~7
臨床工学技士の紹介 / 「おだいじなさい。」	7
ANECOTA ㊦ 隠れた史実	8~9
市民健康づくり大会参加・合同慰霊祭	9
椿森祭を開催して / 学校見学会	10
トトロのクリスマス / 市民健康セミナー / 編集後記	11
外来診療担当医師表	11~12

主
な
行
事
予
定

1/ 6	仕事始め
1/16	看護学校一般入学試験
1/23	看護学校一般入学試験合格発表
1/26	第130回市民健康セミナー
2/20	公開カンファランス
2/27	第131回市民健康セミナー
3/ 7	千葉県国立病院定例連合研究会

新臨床研修医紹介



鎌田敏希

今年度より初期研修をさせていただいております。基幹型コースで2年間お世話になります。

あっという間に半年が過ぎ、今の自分を顧みると不安な気持ちになりますが、先生方、スタッフや患者さんにまでも支えられて私たちの研修は成り立っており、たいへん恵まれた立場にあると感じています。そのことを忘れず、少しでも“よい医師”になれるよう、日々精進してまいります。

今後とも何卒よろしくお願いたします。



徳長 鎮

初期研修医1年目の徳長です。基幹型で2年間お世話になります。

あっという間に半年が過ぎ、出来ないことばかりで焦る毎日ですが、日々少しずつ成長し、今後少しでも役に立てるようになればと思います。

先生方、スタッフの皆さん、いつもありがとうございます。これからもご迷惑をおかけすることと思いますが、どうぞよろしくお願致します。



市川英樹

今年度より千葉医療センターで初期臨床研修医としてお世話になっております。二年間の基幹型です。

出身は昭和大学ですが小～高校と千葉で過ごしており、地元に戻って医療に携わっている事を嬉しく思います。

周りの先生方、同期、スタッフの皆様がとても優しく、恵まれた環境の中で研修出来ていることを日々実感しています。まだまだご迷惑をおかけする事があると思いますがどうぞこれからもよろしくお願いたします。



浦崎智恵

研修医1年目の浦崎智恵と申します。今年度から2年間、千葉医療センターでお世話になります。

仕事を始めて半年、まだまだできないことばかりですが、先生方やスタッフの方々、患者さんから多くのことを日々学ばせていただき充実した研修生活を過ごしております。自分の未熟さを痛感する毎日ですが、この仕事を選んで良かったと思えることもたくさんあって、早く一人前の医師になれるよう精一杯努力したいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。



加藤洋人

研修医1年目の加藤洋人です。千葉大学協力型プログラムで今年1年間お世話になります。

仕事に不慣れなことも多く、未熟で至らない点が多々ありますが、先生方のご指導や同期のサポートで少しずつ成長していきたいと考えております。千葉医療センターに少しでも貢献できるように日々努力してまいります。

1年間どうぞよろしくお願いたします。



栗田遼二

千葉大学協力型プログラムで1年目の研修をさせていただいています、栗田遼二と申します。研修が始まってから約半年が経ちましたが、先生方の指導やサポートがあり、少しずつ経験を積んでいます。

まだまだ未熟で至らない点もありますが、日々成長できるように精進して行きたいと考えてます。短い間ですが、よろしくお願いたします。



吉住有人

はじめまして、研修医1年目の吉住有人です。わたしは千葉大学の出身で、大学時代はラグビー部に所属していました。

研修開始から半年が経過し、自分の不勉強さを痛感していますが、先生方を中心に職員の皆様の優しいご指導のおかげで充実した研修医生活を過ごしております。

ラグビー部で培った体力を生かして、研修を一生懸命して、一人前の医師に少しでも近づいていきたいと思っておりますので今後ともご指導よろしくお願いたします。



工藤ちひろ

今年4月より初期臨床研修医としてお世話になっております工藤ちひろと申します。研修が始まり早くも半年が経過しておりますが、国家試験終了時には想像もつかなかったほどの勉強の毎日でした。半年たった今、研修生活はたくさんの方々に支えていただいていることを、強く感じております。

2年間で少しでも多くのことを学び、また患者さんや社会に貢献していけたらと思います。どうぞ宜しくお願いたします。

連携医院紹介

医療法人社団 巖会 あさひ眼科医院

院長 勝呂慶子

千葉市中央区旭町 4-12
☎ 043-227-2180

平成元年に「あさひ眼科医院」を開院致しました。当初から出来るだけ速やかに診断し治療方針をだすと、言う考え方で始めました。当院で加療すべきか紹介した方が良いのか。患者さんのQOLを第一に考えて、手術加療が望ましい場合には手術可能な施設を早めに紹介するように致しました。しかし、一口に手術と言いましても、現在は一層の高齢化が進みメンタル面に問題を抱えている方、全身疾患を合併している方、また介護に当たっている方の高齢化まで進み、その他の面での難易度が増してきております。けれども、根岸医長率いる眼科チーム、コメディカルの皆様方は、そのような困難な症例に対し献身的に対応して下さり、結果については丁寧なお返事をいただいております。本当に有り難く思っております。



開院当初はニッチ眼科と称し紹介先のなかった老人性眼瞼下垂や涙道チューピングなどの手術を自らやっておりましたが、こここのところ紹介可能な施設が次々に出現したため安易な選択をするようになりました。しかしながら、勤務医の皆様のご負担を少しでも軽くするためにも自ら取り組む分野をもう少し広げて行くべきではないかと最近反省を含め少しずつ考えるようになっております。と、言いながらも、今後もいろいろご面倒をおかけすることと思いま

す。どうぞよろしくお願い申し上げます。

千葉内科クリニック

院長 篠崎 啓 若葉区西都賀 2-11-11
副院長 篠崎 明美 ☎ 043-290-5055

当クリニックは、都賀駅西口、西友近くに位置し、早いもので開業して16年が過ぎました。院長は内視鏡検査等の消化器系、副院長が循環器系と専門の異なる二人の内科



医がそれぞれ得意分野を生かしつつ、「地域のかかりつけ医」として、幅広い症状やご相談に対応しております。子供からお年寄りまで、家族ぐるみで受診していただくことが多く、「安心で丁寧な医療をより身近に」をモットーに、迅速な検査と診断、わかりやすい説明を心掛けています。

昨今、地域医療の窓口役として、患者さんの病状に応じ、高度医療のできる二次・三次医療機関への迅速かつ丁寧な紹介・橋渡しが最も求められていると感じております。国立千葉医療センターは、各専門診療科の高度医療が充実し、入院や精密検査が必要な患者さんを安心してお願いすることが出来ます。また緊急での対応が必要な方についても、いつも迅速に快く対応していただいております。私たち地域の開業医にとって、また地域住民にとっても、非常に心強い存在です。新病院が完成、施設設備も充実し、千葉市の中核病院として今後ますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

地域医療連携室だより

「股関節・膝関節」専門外来開設のお知らせ

5月1日より股関節・膝関節専門外来を開設いたしました。診療は完全予約制となりますので、受診を希望される場合は整形外科外来にて予約をお取り下さい。また、お電話による予約も可能です。下記時間内に整形外科外来へお問い合わせ下さい。

◆股関節外来

担当医師：阿部 功

対象者：股関節痛・股関節機能障害があり、股関節の疾患が疑われる患者さん

外来診療日：水曜日

診療時間：14時～15時30分(完全予約制)

◆膝関節外来

担当医師：白井 周史

対象者：膝関節・膝関節機能障害があり、膝関節の疾患が疑われる患者さん

※膝のスポーツ障害(靭帯損傷や半月板損傷など)は除く

外来診療日：木曜日

診療時間：13時30分～15時(完全予約制)

【電話予約受付】 月曜日から金曜日(土・日・祝日・年末年始を除く) 13時～16時

【問い合わせ先】 043-251-5311 (代表) 内線3103

産婦人科外来 受診方法の変更について

8月1日より産婦人科の受診方法が変更になりました。

【当院産婦人科初診の方について】

初診の方については、紹介状が必要となります。

お住まいの近隣の診療所等で受診をされて、そちらから当院あての紹介状を書いていただき、当院にご持参下さい。

※産科外来については、従来どおり紹介状無しでも受診できます。

皮膚科外来 診療体制の変更について

平成25年8月8日より平成26年3月31日の間、諸事情により **毎週木曜日** は予約制となります。

初診の方は、木曜日を除く外来診療日に受診の手続きをお願いいたします。

(紹介元医療機関からのFAXによるお申込みに限り、初診の方は連携室にてご予約をお取りできます。患者さん

ご本人からの初診予約は行っておりませんので、ご了承下さい。)

外来待ち時間短縮など、患者さんへのご負担をできる限り減らせるよう努めてまいりますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(地域医療連携室)

千葉医療センター地域医療連携ネットワークのご紹介

当院では昨年10月より、千葉医療センター地域医療連携ネットワーク(富士通Human Bridge)を導入致しました。

通常、診療所では、患者さんが地域基幹病院で施された診療情報について、診療情報提供書や、患者さんへの問診をもとに診察されていると思いますが、このネットワークに参加していただければ通常のパソコンで、千葉医療センターでの検査結果、CTやMRIの画像、薬歴等を閲覧しながら診察することができるようになります。

また、入院退院情報についてもお知らせいたしますので、患者さんを当院に紹介された後、入院されたかどうかなどを追いかけて知ることができます。

ご利用のため必要なものは、基本的に通常のパソコンとインターネット回線だけとなっております。利用料金についてもいただいております。また、通信に

あたってはセキュアな通信ソフトウェアを用い、患者さんの情報が漏れないように配慮しております。

もし興味をお持ちの診療所の先生がいらっしゃれば、当院スタッフが訪問させていただき、貴院のシステム環境の調査や、実機でデモ画面でのご説明をさせていただきたいと思っておりますので、下記の連絡先にご連絡いただければと思います。

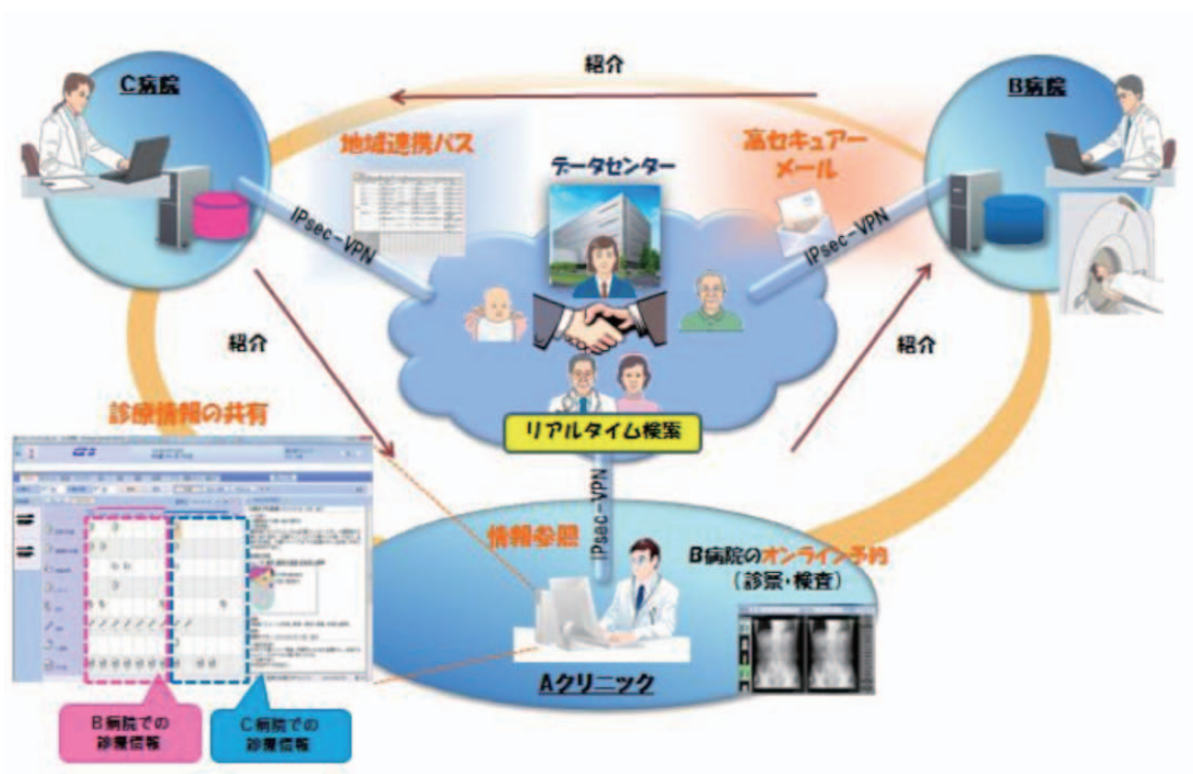
地域医療支援病院として、地域の先生方や患者さんの診療のお役にたてればと考えておりますので何卒よろしくお願いいたします。

○ご連絡先

電話：043-251-5311(代表)

メール：takahashiy-ad@mail.cicnhosp.jp

(医療情報管理係長 高橋)



— 緑内障のおはなし —

【緑内障という病気】

緑内障とは、目の奥にある視神経の障害で、見えな部分ができ、それが広がっていく、という性質を持ち、眼の中の水圧（眼圧）が進行に大きく関わる病気、といえます。

最近では、40歳以上の日本人の20人に1人が緑内障、と推定されていて、失明の原因の上位を常に占めています。

緑内障が失明にいたりやすい理由は、かかる人の数が多く、また進行するまで自分では気がつきにくいから、と考えられます。

早期発見のためには、眼圧・眼底・視野の検査を総合した診断の必要があります。現在、治療としては、眼圧を下げるのが最も有効と考えられています。

【緑内障と眼圧】

私たちの眼球の中には、房水と呼ばれる水が常に循環しています。房水には給水口と排水口にあたる部分があり、通常は給水と排水のバランスが取れて一定の眼圧が保たれています。しかし、排水口に問題が生じると、房水がうまく排出されず、眼圧が上がってしまいます。排水口の問題としては、徐々に目詰まりを起こす場合と、いちどにふたが閉じて流れなくなってしまう場合があります。ゆっくり詰まると進行の遅い緑内障に、すばやくふさがると進行の早い緑内障につながり、この違いによって、治療法が異なってきます。

【緑内障の種類と症状のちがい】

緑内障は、年単位でゆっくり進行する型のほうが多くみられます。図のように、最初は中心から離れたところに、小さな見えな部分ができ、これが徐々に広がっていくことが多いです。

このような症状は、一見簡単に気がつきそうに思われるかもしれませんが、こうした変化も長年にわたり徐々に進むと、慣れにより変化に気づかない、ということが多いのです。また、私たちの眼は、両方を同時に使うと、悪いところが補われてしまい、変化に気づきにくい、という面もあります。

こうした進行の遅い型とは別に、緑内障には、少数ですが、急速に進行する型も実在します。前に述べた、排水口がすばやくふさがる型の緑内障です。

この場合、日常生活では自覚がほとんどなく、眼圧が急に上がってはじめて、激しい痛みとともに、急速



に見えにくくなる、という、一般的な緑内障とはまったく違う症状があらわれます。

数少ないとはいえ、この型の緑内障は、放っておくと数日で失明まで進行してしまうため、一般的な緑内障とは別の意味で危険である、ともいえます。

【緑内障の診断】

これまで述べた症状を、眼科では、眼圧・眼底・視野の検査などを行って見つけ出してゆきます。日本人では、眼圧が正常のままでも緑内障が進行することも多いことが近年知られており、眼圧検査だけでは緑内障の診断はできません。視野に見えないところはないか、排水口は正常か、目の奥の視神経に異常はないか、などを総合して、緑内障の診断を行っています。

【緑内障の治療】

緑内障において、失われた視野を元にもどす、ということは、現在の医療では未だできません。このため治療は、進行を遅らせることが目的となります。

比較的進行の遅い型の緑内障では、治療の主体は眼圧を下げる薬物療法となります。長年にわたり点眼薬を使い続けることが多いため、患者さんの負担が軽くなるよう、点眼する回数を1日に1回から2回程度にするなどの工夫がこらされています。どうしてもお薬で眼圧が落ち着かない場合に、手術が行われます。最近でも、より術後早くから眼圧が安定しやすい方法が工夫されており、手術も進歩を続けています。

進行の早い型の緑内障では、やむを得ず手術が選択される場合も多くなります。

最近では、この型の緑内障の危険のある方には、先に白内障手術をお受けいただくと、予防効果があるため、早期手術のお勧めをすることも増えています。

【まとめ】

緑内障は、自分では気づきにくいという、進んでしまうと元に戻せない病気です。加齢とともに増える病気の一つでもありますので、早期発見のため、まずは医師にご相談をお勧めいたします。（眼科 小林 晋二）

永年勤続表彰伝達式

平成25年5月9日、永年勤続表彰(国立病院機構表彰)伝達式が行われました。30年表彰4名、20年表彰7名の方々に表彰状と記念品が授与されました。永年にわたり医療並びに千葉医療センターのために貢献されてこられた方々です。

30年表彰

臨床検査技師長 永井 正樹
看護師長 永田 まみこ
調理師長 神屋 篤
教育主事 永重 英子

20年表彰

消化器科医長 金田 暁 看護師長 小嵐 文子
外科医長 森嶋 友一 副看護師長 小野 真由美
運動療法主任 村山 かをり 庶務係長 本吉 勇二
看護師長 安藤 光子



永年勤続表彰

臨床検査技師長 **永井 正樹**

臨床検査の仕事をして初めて30年、いや正確には35年が過ぎてしまいました。

昭和58年4月に国立松本療養所(後に統合で国立療養所松本城山病院)で採用になり、苦節30年、関東信越ブロック内の7施設でお世話になり、職場の上司や仲間、そして院内の様々な人の力を貸していただきながら仕事をさせていただきました。光陰矢のごとしという言葉がありますが、今回永年勤続表彰をいただき、今までを振り返りますと様々な思いが胸をよぎります。

元来、不器用な性格です。何かと応用力に力を入れる部分も持ち合わせているのですが、仕事に対しては真摯に取り組んで来たつもりです。しかし、物事にはほどほどという考え方も必要であるということをつい最近教えていただきました。残り時間は決して長くはありませんが、医療の世界で仕事をしている以上、患者さんのために最後まで力を注いでまいりたいと思っています。

今後ともご指導とご支援の程、どうぞよろしくお願いいたします。



永年勤続表彰

調理師長 **神屋 篤**

年月のたつのは早いもので、このたび勤続30年表彰を頂きました。

昭和58年1月1日付けで採用され、国立千葉病院から千葉医療センターへと名称は変わりましたが、栄養管理室の調理師として職務に邁進してまいりました。

この30年は振り返ると無我夢中で走ってきた様に思いますが、これもひとえに家族や職場の皆様の支えがあったからこそです。この原稿にて感謝を述べさせていただきます。

私の勤務する栄養管理室では、管理栄養士と調理師、そして委託職員の方々が同じ意識の元、1日3食365日安全な食事の提供を心がけています。

私自身もこの表彰を機に、恵まれた調理施設、衛生的にも充実している職場環境と、今まで積み重ねてきた経験を生かし、体力気力のある限り病院食の向上を目指していきたいと考えます。

今後とも皆様のご指導アドバイスをよろしくお願いいたします。



永年勤続表彰を頂いて

手術室看護師長 **永田まみこ**

看護学校を卒業して、国立東京第二病院(現在の東京医療センター)に就職し、がんセンター東病院、横浜医療センター、そして平成22年4月より千葉医療センターで働いています。

光陰矢のごとしというように「あっ」という間に早30年。しかしこの30年は、たくさんの経験と出会いがあり、つくづく思うことは本当に素敵なスタッフやコメディカルの方々、患者さん、ご家族の方に恵まれ今まで楽しく働くことができたなと思います。

医療技術はどんどん高度化していきませんが、変わらないのは人と人との関わり合いだと私は思います。

相手の立場を考え「今自分に何が出来るのか」を自分自身に問いかけながら、今後も看護師の責務を自覚し、安心安全な看護を患者さんやご家族に提供できるように頑張りたいと思います。



新たなる歩み

千葉医療センター附属千葉看護学校
教育主事 **永重 英子**

このたび永年勤続30年の表彰をいただき、有難うございました。

皆様の支えがあり、ここまで歩んで来れました。こころより感謝申し上げます。

これまで、国立王子病院の統廃合、国立習志野病院附属看護学校の閉校、千葉看護学校および横浜看護学校の大型校開校、東が丘看護助産学校の閉校に携わりながら、国立病院からの変遷と共に歩んで参りました。

看護学校が大型校に変わる時「このままでいいのに。」と惜しむ気持ちもありましたが、今では、校舎も新しく、学生のマンパワーがあり、大型校のメリットの方が多くなって来たように思います。

今後も、看護の質の向上のために貢献できるように努めて参ります。また、チームの中で今の自分に何が出来るかを優先して考え、新たなる1歩、2歩を踏み出していきます。

至らぬ私ですが、今後ともよろしくお願いいたします。



20年永年勤続表彰
庶務係長 **本吉 勇二**

自分にとって「永年勤続表彰」というキーワードから連想されることと言えば「大ベテランにしか縁のないもの」という、遠い存在のものでした。まさか自分がその対象になるとは、今もって他人事のようにです。若いつもりというのも本人が思っているだけで、周りから見れば年相応なのだと思います。いまいち喜べないのも事実です。

事務職という立場から、同一医療機関で長期間勤務することが少なく、たまたま20年が経過する時期に千葉医療センターに籍を置いていただけで、他の医療スタッフと並んで、この地で表彰して頂くのは何だか申し訳ない気もしますが、同じ国立病院機構（採用された当時は国立病院でしたか）に従事し、微力ながらも貢献しようと積み重ねてきた年月を証明して頂いた、と思えば、開き直れる気もします。

いずれにしても、まだ通過点。先輩方から「感慨に浸るには早い」と一喝されそうなので、素知らぬ顔して21年目を過ごす毎日です。

臨床工学技士の紹介

主任臨床工学技士 **高橋 邦仁**

「臨床工学技士」ってご存知ですか？

最近ではテレビの医療ドラマにも少しだけ顔を出すようになりましたが、一般の方のほとんどがご存知ないと思います。

昭和63年4月に「臨床工学技士法」が制定され、医師の指示のもと生命維持管理装置の操作および保守点検を行う事を業とする、医学と工学の両面を兼ね備えた国家資格として、医師、看護師をはじめとする多くの医療職種と共に働くチーム医療の一員です。院内ではCE（Clinical Engineer）もしくはME（Medical Engineer）と呼ばれています。

主な業務は、人工心臓、補助循環、心臓カテーテル、ペースメーカーなどの心臓血管外科・循環器内科に関連する手術や治療補助の他、人工呼吸器や血液浄化など、生命維持に不可欠な機器に関係するものです。

冒頭に書かせていただきましたが、残念ながら「臨床工学技士」という国家資格はあまり知られておりません。そのため、初めて会った人との会話はたいいて、「ところで、仕事は何してるの？」「臨床工学技士。」「ああ～！ 検査技師？」「違う！ 臨床工学技士！ 病院でいろんな機械を扱っているんだ！」「分かった!!レントゲンの時でしょ！」「それは放射線技

師…。臨床工学技士だって…。」「へえ～。そういう資格があるんだあ～。」「うん…。」「それで、どんな仕事？」「病院で…。機械を…」という感じ



です…。なぜこんなに知名度が低いのでしょうか？ 医療安全が重要視される今日、病院内では仕事が増えるばかりなのに…。

私は、自分達の仕事を振り返ってみました。私達が患者さんと接するのは、手術室でしっかりと全身麻酔がかけられた後や、患者さんの病状が最も重く、意識が朦朧としている時に登場し、元気になる頃には姿を消す…。なるほど…だからだ…。

技術の進歩により様々な治療が可能になり、更に発展を続ける今日の医療技術に必要な不可欠なのが医療機器です。知名度ははくとも、「安全」をモットーに、医療機器を通して患者さんのお役に立てるよう日々精進してまいりますので、「臨床工学技士」という名前と仕事に少しでも興味をもっていただけると幸いです。

「おだいじなさい。」

30年程前のことですが、私は病院に就職した当初、患者さんの受付窓口（現在の当院の4番窓口のような場所）でした。当時は受付をして、会計のない患者さんには処方薬の引換券を渡して、「おだいじなさい。」と、声を掛けていました。当然、何の違和感もなく。

ところが、群馬県地方しか「おだいじなさい。」という言葉を使わないということが、5年位前に分かりました。病気が怪我の相手と電話をしていて切るときも「おだいじなさい。」お見舞いに行くと別れるときも「おだいじなさい。」標準語で言えば、「お大事になさってください。」「お大事に。」ということですが、受ける方によっては命令語の「～しなさい。」の「なさい」に聞こえるらしく、「おだいじにしなさい。」「おだいじになさい。」の略語と思っていた方もいるようです。さすがに、患者さんに対して命令語の分けはな

いのですが。

聞いたことがない方もいると思いますが、語尾が上がるので、やさしく聞こえてるとは思っています。

今は、注意をしているので「おだいじなさい。」を言わないようにしていますが、気がゆるむと言ってしまうこともあります。病院内でも部署によっては、転勤族の集まりです。当部署も九州、中国、近畿、関東、北陸、離島等の出身者がいるので、いろいろな方言が聞こえてきそうなのですが、皆、なぜか無理して標準語を話そうとしているようです。（こんなことを言うと、おこられそうです）

千葉医療センターに入院・通院している皆さん、1階の窓口や病棟にも転勤族はいます。その土地の方言がつい出てしまうこともあると思いますが、その辺はお許しください。

千葉の方なら「そのくらい、いいっぺよー」と許してくれるとは思いますが。
(管理課)

A N E C D O T A (36)

— 隠れた史実 —

元研究検査科長 高澤 博

小休止をいただきましたが、また、江戸医学所中心に記述を続けさせていただきます。幕末の混沌とした時期で、周囲の環境は尊王攘夷の渦に飲み込まれて 医学所自体もいよいよ新政府の医療施策に受け継がれていきます。明治新政府自体も欧米化への体制創りの中で、移行期特有の様々な変更と進化を繰り返しますが、医療陣営も西洋医療への志向と発展を目指して、いわば揺籃期に相当する時期です。従って、混乱期中、資料も少なく、混沌の黒い森に入る感があります。

その前に、医学所の位置の確認と往時のこの界隈の環境を見えます。図1aは前回までに推定した江戸絵図での医学所の縄張りです。ここに表示された関係ある拝領武家屋敷について触れておきます。1)山本加(壽)兵衛(図では加兵工)；200

俵取り、小普請組初鹿野河内守組、敷地170坪。先祖は大御番、鎗術家業、寛延4年、1751年から「江戸城下変遷絵図集、原書房」(以下、図集)に記載されます。2)安井甚右衛門(図、甚右工門)；その継嗣謙次郎は、父甚衛右衛門死後御納戸勤め、200俵の内50俵御足高、陸軍奉行並支配梁木佐太郎拝領屋敷の内借地住宅。「伊東玄朴伝」では安井名は見出せず、かわりに大御番内田主殿頭組、白井謙太郎屋敷地240坪とあります。しかし、図集には白井謙太郎と云う屋敷は見出せず、文化4年、1807年以降安井甚右工門の名が続きますので、玄朴伝の記載違ひも考えられます。内田主殿は大御番(江戸城、将軍を守る武方で、誇りの高い旗本集団)の組頭、1万石を拝領した下総国小見川の在で、養父内田加賀守死後、実父内田左膳で、元治元年9月19日家督仰せ付かれるとあります。3)鳥居織部(図、鳥居彦太郎)；500石取り、西丸御小姓。文久2年7月9日、御役御免、寄合(無役の旗本)となる。敷地不明。4)正木助次郎(図、助二郎)；30俵二扶持、安房、小普請組から大御番とあります。敷地不明。図集で文化4年から同所に正木姓が続きます。鳥居と正木両家が医学所頭取拝領屋敷として緒方洪庵に、その後松本良順に貸与されます。要約すると、この縄張り屋敷は幕府武方(書院番、大番から小人組までの、江戸幕府・城の護衛・守備を司る武闘集団)の居住区で、伊東玄朴(種痘所取締)、大槻俊斎(同頭取)、池田多仲(同留守居)らが種痘所として借り受けた土地・屋敷と理解できます。

図1bは前回にも触れた「江戸種痘所始末」(中外医事新報、明治29年5月20日 714-718、厥名《著者名を欠くこと》《大槻俊斎の子、玄斎保存所持；富士川游「種痘所発起」による》)に記載された医学所見取り図です(文久2年以降のものか)。表門が和泉橋通(御徒町通、現昭利通りにほぼ相当します)に面し、裏門が勅表門としてあります。

ここで、医学所内外の状況を記してみますが、資料が少なく、ここでは、松本良順(蘭疇)の伝記「蘭学全盛時代と蘭疇の生涯」鈴木要吾著のなかの『西洋医学所の人々』の一部を記載しますので、往時を想い浮か

べてください。“和泉橋通徒士(御徒)町にあった医学所は旧旗本屋敷(幕府御祐筆組頭北隅十郎宅)をそのまま使用したものであって、その名の示す如き西洋医学所といった堂々たるものではなかった。またこの塀をめぐって深い溝があり、長屋門を潜り長い敷石の歩道を通ると表玄関の式台という風であった。

玄関を登ったところに群青塗(ぐんせいぬり)つぶしの立浪を描いた半戸があり、その内部が畳敷の学舎になっていた。ここに一般学生が菅原寺小屋式に机を並べて洋学生としての修学をして居る。その隣り合った四畳半に田代基徳が助教兼監督として控えて居た、椽依いに句読師(助教)達の部屋があった。松本頭取邸の庭とは小杉林を境として庭園と云えば庭園であるが、極めて殺風景の庭があって、

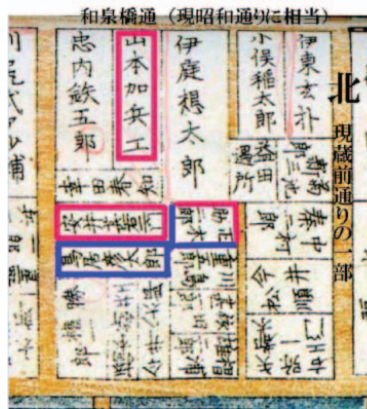


図1a 嘉永6年医学所賃借屋敷縄張り。赤枠：医学所講堂ほか 青枠：頭取屋敷



図1b 文久2年以降の医学所位置と屋敷見取り図 出所は本文中



図2a 現代地図(昭文社2007年) 朱枠：概ね医学所の位置縄張りを現代図に想定。数字は歩幅(約80cm)を示す



図2b 御徒町1丁目 医学所想定縄張り(赤線)を法務省出張所交差点から昭利通り方向を撮る(2007年)

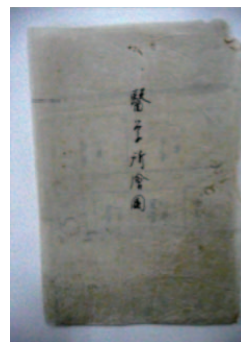


図3a 多間櫓医学所絵図 和紙4つ折 残念ながら書類半分は欠落

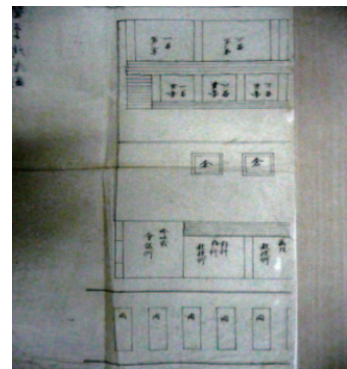


図3b 図2aの裏側間取り図 寄宿舎、倉庫、教授所として内・外科、病理室があり、下段同とあるのは教場か

その先が芝原であった。ここで足立の藤さん（足立藤助、後東校教官）や石黒忠さん（石黒忠憲、後陸軍軍医総監）、大沢兼ちゃん（後東大初代生理学教授）と云った医生達が雪合戦や角力（相撲）取りをする所であった。別棟にはお留守番役、総監督と云った池田多仲住んで居て侍医として幕医寮（奥医師）にはここから通ったものである。……” 多少現代風に加筆しましたが、概ね雰囲気がかめました多でしょうか。登場人物については後述します。

図2aでは現代地図に幕末医学所の縄張りをおおまかに引いてみました。今回、図示しませんが、明治9年参謀本部地図や大正13年の関東大震災後の区画整理図に、レイヤー化を試みました

が、概ねその位置の整合性が得られました。

さて、最後に興味を惹く図3を提示します。9年前、東京中央公文書館のファイル「多聞橋資料；江戸城開城時に幕府役人が多数の文書・書類を多聞橋に投げ納めたもので、約半分が整理されて公開されつつあります」に、『医学所絵図一通、多31665』を発見しました。しかし、和紙の半部は欠落していて、江戸医学所の間取り図の可能性はありますが、改築設計図かも知れません。将来、残る半分の掘り出しを期待します。

次回から明治維新時、江戸医学所の明治政府への移管、西洋近代医学の導入という煩雑な時期に入る予定です。

市民健康づくり大会に参加しました。

25.10.19

「健やか未来都市ちばプラン市民健康づくり大会」が市民の日関連行事として10月19日に開催されました。健やか未来都市ちばプラン推進協議会、(財)千葉市保健医療事業団、千葉市が主催し、昨年と同じ「きぼーる」が会場となりました。

当日は、当千葉医療センターの他、千葉市薬剤師会、千葉市歯科医師会、千葉県看護協会千葉地区部会など25の団体が参加されました。

昨年に続き千葉医療センター附属看護学校からも看護協会と一緒に展示発表され「健やか未来都市をめざして」をテーマに、健康づくり体験、相談等が各ブースで開設されました。

当センターのテーマは、「ウイルス感染予防対策と健康相談」として、インフルエンザ、ノロウイルス等の予防に関する対策相談、正しい手洗い方法、栄養相談、心臓マッサージとAED体験、と新しく「頸動脈エコー検査による動脈硬化測定」・「お薬相談」を実施しました。予想どおり動脈硬化測定の人気は高く途切れることなく順番待ちしていました。その他栄養相談、医師の予防相談、手洗い指導等にも多数の皆様が立ち寄り、当センターのブース全体で334名の方が体験されました。当日ス



チーバくんの心臓マッサージ体験



手洗い体験



心臓マッサージとAED体験



健康相談コーナー

タッフとして参加いただきました皆さんご苦労さまでした。来年も参加する予定ですので、ご協力よろしくお願ひします。

合同慰霊祭

平成25年11月29日（金）千葉医療センター合同慰霊祭が行われました。合同慰霊祭は医療の発展のため、ご献体頂いた故人のご冥福を祈り、ご家族の悲しみを少しでも癒していただくために行います。

今回は平成18年9月から平成25年8月の間に解剖された故人108名のご遺族のうち29名の方にご参列いただきました。冒頭、全員による故人へのご冥福を祈り黙祷とご芳名の奉読が行われた。続いて、増田院長から、心身の苦しみに耐え、病魔と闘いながらもこの世を去られた108名の故人とご遺族の皆様に対して慰霊の辞を述べられました。

その後、院長、ご遺族、病院職員と祭壇に献花を行い、ご遺族の代表の方からご挨拶を賜り、合同慰霊祭は厳かに



閉式となりました。

お忙しい中、合同慰霊祭にご参列いただいたご遺族の皆様様に改めてお礼を申し上げます。 (経営企画室)

第46回 椿森祭を開催して

千葉医療センター附属千葉看護学校

教員 渡邊陽子

平成25年9月21日、第46回椿森祭が開催されました。今年度の椿森祭のテーマについて学生からアンケートを取り、その結果を基に学生自治会の椿森祭実行委員会が中心になりテーマを検討してきました。そして今年度は「愛～人々との

つながりを大切にし、椿森祭を通して相手との交流を深めよう」というテーマに決定し、テーマに沿った催し物を企画し、催し物毎に準備を進めてきました。

午前の椿森研究発表会では、各学年から2名の代表者が臨地実習での学びを発表し質疑応答も活発に行われ、学びの共有ができていました。また、一般公開の催し物として、各学年の展示（1年生：ナイチンゲールについて、2年生：口腔ケア、3年生：学校案内）、看護技術（血圧測定、手浴、衛生的手洗い、高齢者体験、妊婦体験）、軽食、バザー、映画、そして、1年生有志によるダンスやたばこモデル事業の一環として1年生による「喫煙による健康被害」についての発表がありました。どの催し物も大勢の方に来て頂き好評でした。

当日は地域の方や病院関係者の方など202名の来校者



がありました。来校者の方によるアンケートに「人と人とのつながりを大切にしよう」というテーマに沿った活動が、一人一人の学生さんにできていたと思います。とても温かく楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。すてきな看護師になってください」というコメントいただき、学生達の励みになっています。

閉会式の中で実行委員長挨拶が終わった瞬間、クラスメイト達からねぎらいの言葉とともにクラッカーが打ち上げられ、感動的な場面もみられました。この椿森祭を計画し準備をしていく過程の中で、学年を超えた学生同士の交流があり、絆を深めることができました。終了後に感じた達成感や満足感そして創造する喜びなど、これらの経験したすべてが、これからの学生の成長の糧になることと思います。

平成25年度 学校見学会

千葉医療センター附属千葉看護学校

教員 遠竹華子

今年も学生募集の一環として、学校見学会を開催しました。5月から9月にかけて、計6回の学校見学会のほか、今年の新しい取り組みとして看護学生体験入学を2回実施しました。

看護学生体験入学では、参加者に看護学校の授業を直に体験して欲しいとの願いから、第1回は「食事の援助」、第2回は「車椅子移動の援助」を実施しました。この企画は、これから看護を学ぼうと思っている参加者に、当校の学生が受けている授業を体験してもらうことで、看護学校で学ぶことをリアルにイメージしてもらい、看護師を目指す気持ちを持ってもらうことを目的としています。

参加者には、看護部から借用した白衣の中から、自分に合った白衣を選んでもらいました。はじめて白衣に袖を通した参加者は、恥ずかしそうな、それでいてうれしそうな表情で、当校の学生と変わらない雰囲気映りました。皆、真剣な眼差しで授業を聞き、実習では教員にひとつひとつ確認しながら、患者役と看護師役となって、それぞれに援助の実際を体験しました。緊張しながらも、楽しそうに取り組んでいる雰囲気が伝わってきて、これを行っている私たち教員も熱が入りました。

実施後の感想では、「物を飲み込む時のことなど詳しく知ることができた」や、「いかにその人の気持ちに立って行



うことが大切かを知りました」などの声が聞かれました。参加者のこのような反応を聞いて、これから看護を学ぼうと考えている人にとって、

これまで以上に看護を身近に感じ、看護に対する興味や関心を深めてもらえた経験になったのではないかと感じ、うれしく思いました。

学校見学会は、学校職員だけでなく、学生の協力がとても大きいものになっています。実際に、夏季休暇中に学生の協力のもと開催する学校見学会のほうが、教員だけの学校見学会よりも見学者の満足度は高い状況です。見学者は、学生の案内で校内を巡りながら、学生が実技練習に取り組む様子を見学したり、心音や呼吸音の聴取を一緒に体験したりして、学校の雰囲気や学習の様子を



知る機会にしてくださっているようです。

今年は、これら学校見学会と看護学生体験入学をあわせて600名の参加がありました。参加者人数は年々増えて

いる傾向にあります。今後もこれらの取り組みを継続し、少しでも多くの方々に看護に関心を持ってもらいたいと考えています。

第31回 トトロのクリスマス

12月22日(日)に恒例の“トトロのクリスマス”が開催され、かわいい子供達とお母さん、コーラスグループ「ポジャック」の皆さんが患者さんの慰問に訪れてくれました。

当日、1階外来エントランスにセッティングされた舞台では、子供達のかわいらしく、また、華麗なダンスや歌声がはじけ、訪れた大勢の患者さんにとって、ひとときの癒しとなったことと思います。終了後には、「ありがとう」「可愛かったよ」等の言葉が、たくさん聞こえてきました。

永田ダンスシティの皆様をはじめ関係の皆様、本当にありがとうございました。
(管理課)



市民健康セミナーの開催

当院では千葉市民の皆様には健全な生活を営んで頂くために、少しでもそのお手伝いができればと考え、平成14年2月から「市民健康セミナー」を当院地域医療研修センターで開催しております。

10月～12月に行われたセミナー

- 10月24日(木) 「病院から在宅療養へつなぐ
～退院支援看護師長の立場から～」
講師：看護師長 安藤 光子
- 11月28日(木) 「運動器の痛みについて」
講師：整形外科 古志 貴和
- 12月26日(木) 「もしかして、皮膚がん？
～皮膚疾患について、一緒に考えましょう！」
講師：皮膚科医長 大久保 倫代

今後の予定

第4木曜日 午後2時～
会場：当院地域医療センター

- 1月23日(木) 「がん放置療法ってどうなの？」
講師：外科医長 森嶋 友一
- 2月27日(木) 「脾臓の病気」
講師：外科医長 豊田 康義
- 3月27日(木) 「肺がんの抗がん剤治療について」
講師：呼吸器内科 安田 直史

セミナーに10回参加された方には記念品をさしあげます。

検査担当医師表

診療科		月	火	水	木	金
胃内視鏡検査 (午前)		金田/菰田	田村 玲	斉藤 正明	阿部 朝美	伊藤 健治
		里見 大介		里見/高見	森嶋 友一	
		[豊田 康義]			[豊田 康義]	
大腸ファイバー(午後)		内科交替医	外科交替医	外科交替医	外科交替医	内科交替医
超音波	腹部	有賀 明子	阿部 朝美	有賀/菰田	伊藤 健治	杉浦/金田
	心臓				山田 善重 (第2・4木曜日) 午前	高見 徹

編集後記

昨年の2013年流行語大賞は、「今でしょ!」、「お・も・て・な・し」、「じゃじゃえ」、「倍返し」となった。当誌発刊の2000年は「おっはー」、「IT革命」である。新病院移転時は「ゲゲゲの」であった。今年はソチ五輪開催である。日本選手の活躍で「自分で自分をほめたい」などの新たな流行語を沢山とっていきましょう。 (1991年。チャーリー浜) (S)

【編集委員名簿】

(石毛 尚起) (打矢 直記) (新井 茂)
(山口 正和) (稲田美枝子) (安彦 昌人)
(副編集長 菅原 広之)
(編集長 杉浦 信之)

外来診療担当医師表 “聞く” “聴く” “訊く” の対応を! 平成26年1月1日より

診療科		月	火	水	木	金	
受付時間は原則として、平日(月曜日から金曜日)の8:30から11:00まで							
内科	新患	杉浦信之 斎藤正明	杉浦信之 斎藤正明	杉浦信之 石田琢人	森泰子 田村玲(第1・3木曜日) 菰田弘(第2・4木曜日)	斎藤正明 岡澤哲也	
	再診	呼吸器内科	丸岡美貴 安田直史 伊藤健治	西村大樹 金田 暁 飯野陽太郎(第1・3・5火曜日) 西村光司(第2・4火曜日)	江渡秀紀 田中望未 金田 暁(予約制) 伊藤健治 阿部朝美	丸岡美貴 西村大樹 篠崎勇介	江渡秀紀 安田直史 阿部朝美
		消化器内科 (消化管、肝、胆、膵)	田村 玲	大黒晶子	伊藤健治 阿部朝美		
		総合内科	後藤茂正	菰田 弘	新行内 雅代(第1・3水曜日)	後藤茂正(血液) 有賀明子	石田琢人 新行内 雅代
	糖尿病代謝内科	新患は紹介制 島田典生/徳山宏丈	石塚伸子	島田典生	岡澤哲也	島田典生/徳山宏丈	
神経内科	新患は紹介制・予約制 櫻井 透	古本英晴 能重 歩	櫻井 透	古本英晴	三津間 さつき		
精神・神経科	新患 海宝美和子 吉村政之	吉村政之 鈴木寿臣(午前)	高橋純平 海宝美和子 山内厚史	高橋純平	吉村政之 高橋純平 山内厚史		
循環器内科	新患は紹介制 月曜日は完全予約制 高見 徹 <完全予約制>	久保 健一郎 受付は10時まで	宮澤 一雄 受付は10時まで	高見 徹 受付は10時まで	中里 毅 受付は10時まで		
小児科	重田 みどり	新井 ひでえ	重田 みどり	重田 みどり	新井 ひでえ		
外科・消化器外科	森嶋友一 山本海介 福富 聡 守 正浩	[交替医]	豊田康義(緩和ケア) 山本海介 利光靖子 石毛孔明	小林 純 里見大介 高見洋司	[交替医]		
乳腺外科	新患 完全予約制	荒井 学	荒井 学	荒井 学	手術日		
整形外科	再診	荒井 学	荒井 学	荒井 学	手術日		
	永瀬 譲史 阿部 功 村上宏宇 白井周史	[交代医]	永瀬 譲史 大河昭彦 阿部 功 古志 貴和	大河昭彦 村上宏宇 白井周史 古志 貴和 藤井達也	[交代医]		
	股・膝関節外来			阿部 功(股関節) 14:00 ~ 15:30	白井周史(膝関節) 13:30 ~ 15:00		
	形成外科	手術日	輪湖雅彦 鈴木文子	手術日	輪湖雅彦	鈴木文子	
脳神経外科	石毛尚起	丹野裕和 布瀬善彦	石毛尚起	手術日	尾崎裕昭		
呼吸器外科	斎藤幸雄	手術日	藤野道夫	斎藤幸雄	藤野道夫		
心臓血管外科		田中英穂	増田政久		増田政久		
皮膚科	木曜日は完全予約制 大久保 倫代 秋田 文 佐藤直秀 川名庸子 一色真造 宮内武弥	大久保 倫代 秋田 文 一色真造 宮坂杏子 櫻山由利	大久保 倫代 秋田 文	角田寿之 完全予約制 佐藤直秀 川名庸子 櫻山由利	大久保 倫代 秋田 文 [交替医] 手術日 受付は10時まで		
泌尿器科	水曜休診 金曜の受付は10時まで		手術日				
産婦人科	中崎裕夏 松岡 歩 木下亜希	[交替医] 手術日 受付は10時まで ※新患のみ	岡嶋祐子 中崎裕夏 岡山佳子 松岡 歩	岡嶋祐子 手術日 受付は10時まで ※新患のみ	岡嶋祐子 木下亜希 岡山佳子		
助産師外来		完全予約制		完全予約制			
眼科	大岡恵美 小林晋二 窪田真理子 受付は10時まで	根岸久也 大岡恵美 小林晋二 窪田真理子	根岸久也 大岡恵美 小林晋二	[交替医] 手術日 受付は10時まで ※新患のみ	根岸久也 小林晋二 窪田真理子		
頭頸部外科(耳鼻咽喉科)	新患は紹介制 再診は予約制 月・木の受付は10時まで 渋谷 真理子 外池百合恵 有本昇平	渋谷 真理子 鈴木 誉 受付は10時まで	手術日	手術日	鈴木 誉 外池百合恵 有本昇平		
放射線科	治療	酒井光弘(予約制)		酒井光弘(予約制)	酒井光弘(予約制)		
歯科口腔外科	再診は予約制	中津留 誠 石田 翔	中津留 誠 石田 翔	中津留 誠 石田 翔	中津留 誠 石田 翔 馬場 隆緒		

専門外来	腎内科(内科)			上田志朗 (第2・4水曜日) 8:30 ~ 11:00	
	肝臓外来(内科)		[交替医] 13:00 ~		
	不整脈外来(循環器内科)			上田希彦(第4水曜日) 宮澤一雄(第2水曜日) 完全予約制 13:00 ~ 15:30	
	ヘルニア専門外来(外科)				山本海介 13:00 ~ 15:00
	緩和ケア外来(外科)		豊田 / 石田 13:30 ~ 15:30 完全予約制	田口 昇 9:30 ~ 11:00 完全予約制	
	ストーマ外来(外科)				[担当看護師] 外来診察時間内
	禁煙外来(外科)			菰田 弘 14:00 ~ 完全予約制	守 正浩 14:00 ~ 完全予約制
	肛門外来(外科)	守 正浩(第1・3月曜日) 14:00 ~ 16:00 高見洋司(第2・4月曜日) 14:00 ~ 16:00			
	漢方外来		永井千草 8:30 ~ 13:00 完全予約制	永井千草 8:30 ~ 13:00 完全予約制	
	性カウンセリング(総合診察室)				大川 玲子 8:30 ~ 17:00 完全予約制